



みんながつながり 夢を育てる学校に

国立二小だより

平成30年9月28日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

心を一つにみんなが輝ける舞台へ

校長 小林 理人

明日は国立第二小学校第68回目の運動会です。各学年ともに最後の練習を終え、全ての準備が整いました。子供たちが主役の二小伝統の運動会の幕開けです。

今年の運動会のスローガンは「心を一つに みんなが輝ける舞台へ」です。代表委員の子供たちが全校に呼びかけて集めた「キーワード」の中で多かった言葉を使って、今年の二小にふさわしいものにしました。そして、全校朝会で代表委員会の代表児童が次のように紹介をしました。

「例え踊りが上手じゃなくても、かけっこが速くなくても、そのことに一生懸命がんばる姿で輝いてほしい。チームで心を一つにがんばってほしいという思いが込められています。」

これまで二小で大切にしてきたことや身に付けてきたことを意識し、「心を一つにすること」「力いっぱい頑張る（輝く）こと」を運動会のスローガンとしてくれたことをうれしく思うとともに、二小の良き伝統が途切れることなくつながっていくことに大きな手応えを感じました。

また、子供たちはそれぞれの学年で取り組む演技や競技を行うことだけではなく、演技や競技を見ている子供たちや地域、保護者の皆様に思いを伝えることを「舞台へ」という言葉に託しました。自分たちが楽しむだけではなく、見に来てくださった方にも楽しさや喜び、元気や勇気など、自分たちがこだわって練習してきた気持ちを伝えて感動を届けたいという思いを込めました。

輝ける舞台となる芝生の校庭

そして、舞台となる芝生の校庭は例年以上に良い状態です。5月に行った一斉作業、保護者や地域、関係団体の皆様による日常的な維持管理が最高の舞台づくりにつながっています。また、金管バンドや応援団、リレーの選手の子供たちは朝の時間や放課後、休み時間を使い、ほぼ毎日練習をしました。保護者の皆様には、朝の練習に参加するための登校時刻への配慮、温かい言葉かけや励ましなどの心の管理、食事や洗濯等の健康管理など、運動会に向けて子供たちを支えていただきました。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

心を一つにしたスローガン掲示

写真は校舎中央2階の掲示板です。代表委員会が用意した「心を一つに」の文字の周りに、運動会への子供たちの思いをシールに記入して貼りました。

「最高の思い出にする」「運動会を楽しむ」「絶対優勝、一位になる」「心を一つに、団結、協力」「大きな声で盛り上げる」「見ている人、する人、みんな笑顔になる」など、1年生から6年生までの子供たちの思いが一つになった素晴らしいものが出来上がりました。

今年の運動会が子供たちにとって最高の舞台になるよう私たちも全力で子供たちの輝きを支えていきます。

